

土砂災害を想定した合同防災訓練を開催します

立山砂防事務所では、近年局地的な気象がもたらす土砂災害が頻発している現状を鑑み、大規模土砂災害発災時における迅速かつ的確な災害対応行動について確認・検証することを目的に、国、県、市町村及び関係機関の連携による実践的な防災訓練を実施します。

1. 名称 平成27年度土砂災害を想定した合同防災訓練
2. 日時 平成27年11月14日(土) 8:00~12:00
3. 会場 立山町宮上東体育館 中新川郡立山町下白岩16番地
4. 実施概要 別紙のとおり
5. 訓練の特色 富山県立山町を対象に、豪雨を誘因とした大規模土砂災害(同時多発土砂災害・河道閉塞・地すべり)が発生するシナリオに基づく、関係機関合同の「学習型訓練」を実施します。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
副所長(技術) 福田 光生
調査課長 石井 崇
電話 076-482-1111 (代表)
FAX 076-482-1101

立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂61番地
<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 



国土交通省北陸地方整備局

平成27年度土砂災害を想定した合同防災訓練の実施について

1 目的

近年局地的な気象がもたらす土砂災害が頻発している現状を鑑み、大規模土砂災害発災時における迅速かつ的確な災害対応行動について確認・検証することを目的に、国、県、市町村及び関係機関の連携による実践的な防災訓練を実施する。

2 今回の防災訓練の主な特色

土砂災害防止法・災害対策基本法の一部改正を考慮した、大規模土砂災害発災時に関係機関と協力し迅速かつ円滑に対応する能力を高める「学習型訓練」を実施する。

※「学習型訓練」とは、ファシリテーター（司会進行役）が災害シナリオに沿って質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練。

3 概要

(1) 日時 平成27年11月14日（土） 8:00～12:00（予定）

※日程概要	8:00～ 8:30	集合・受付
	8:30～ 8:40	開会・挨拶
	8:40～ 8:55	訓練説明
	9:00～11:30	学習型訓練
	11:30～11:50	振り返り・意見交換
	11:50～11:55	全体講評
	11:55～12:00	挨拶・閉会

(2) 場所 立山町営上東体育館 富山県中新川郡立山町下白岩16番地

(3) 主な被害想定

富山県立山町を中心に局地的な集中豪雨発生

→山間部で土砂災害（土石流・がけ崩れ・地すべり・河道閉塞）

4 参加機関（19機関、約60名）

国土交通省北陸地方整備局、立山砂防事務所、陸上自衛隊第14普通科連隊、自衛隊富山地方協力本部、富山県知事政策局防災・危機管理課、富山県土木部砂防課、富山県富山土木センター立山土木事務所、富山県警察本部、立山町、立山町消防署、立山神通砂防スペシャルエンジニア、斜面防災対策技術協会富山支部、富山県建設業協会立山支部、東谷地区自治振興会、四谷尾地区、谷口地区、虫谷地区、白岩地区、目桑地区（順不同）

学習型訓練とは

1.1 学習型訓練とは

ファシリテーター（司会進行役）が災害シナリオに沿って質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練です。



司会進行役が災害状況（シナリオ）を説明しながら訓練参加者に質問



指名された機関が状況を踏まえて対応すべき行動を口頭で回答

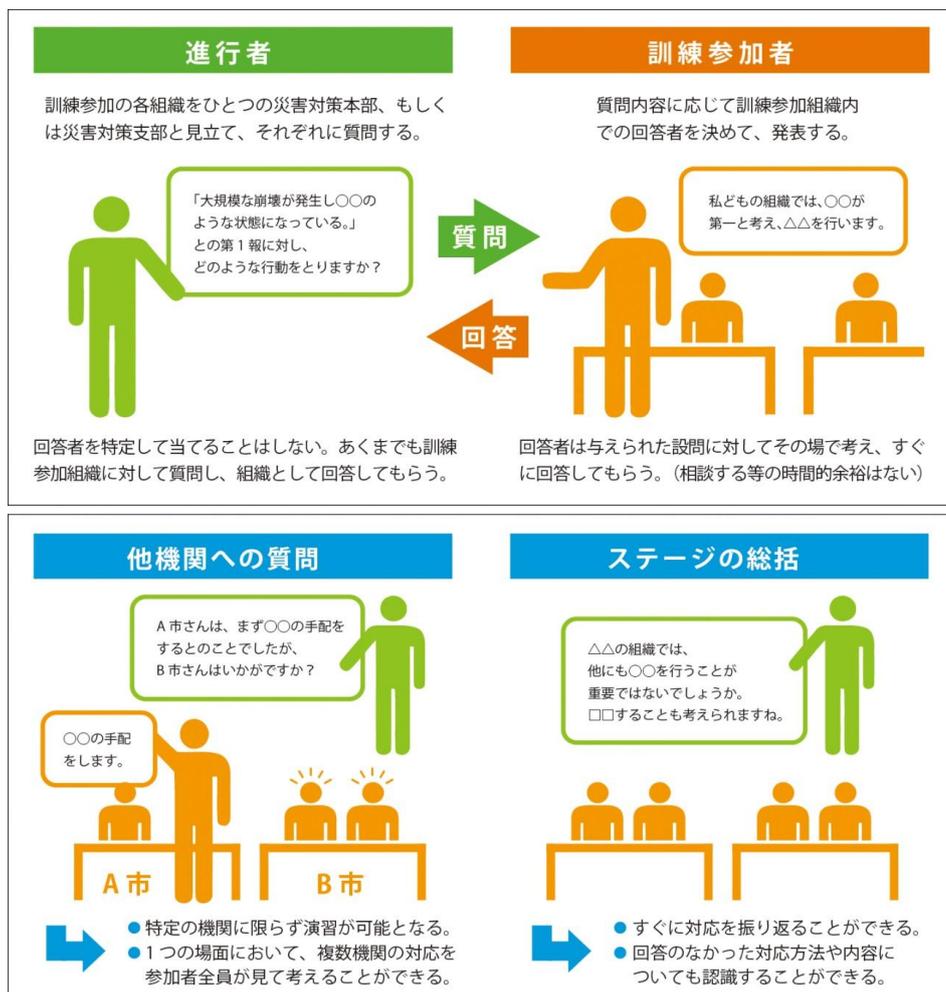
1.2 学習型訓練の進行方法

■ 基本的な進行

「進行者」と「訓練参加者」に分かれます。

想定した災害シナリオに則して状況付与を行った上で、「進行者」は「訓練参加者」に、その対応について様々な「質問」をし、「訓練参加者」は「回答」（相談しても良いが時間的余裕は与えない）する形式で進行します。

このように、逐次対応する形で行うので、実時刻に基づいた進行にはなりません。



■ 訓練の進行手順

